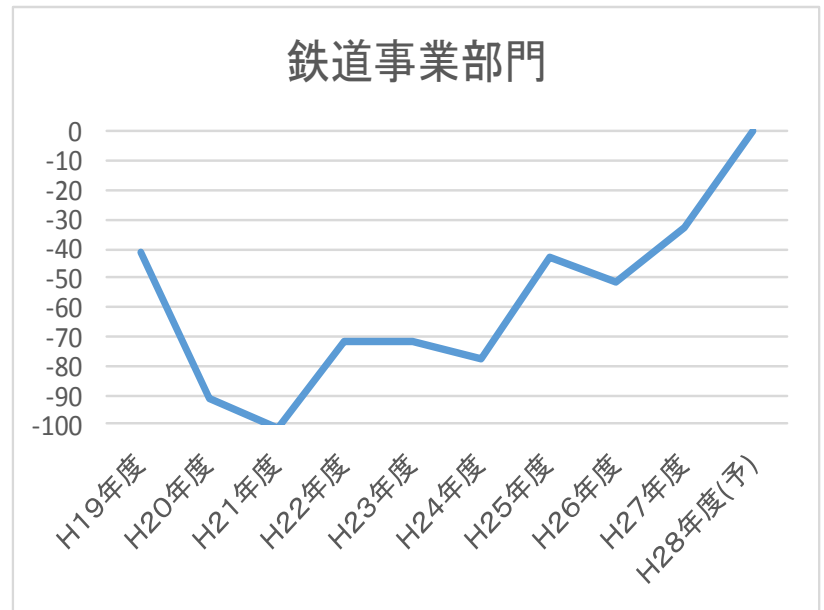


鉄道事業部門黒字化！

新聞等の報によると、2月の定例会見において、田村社長は、「今の状況がそのまま推移し、頑張っていけば黒字化に到達できる」と説明しました。

その他にも、年度末の臨貨輸送によって、コンテナ1万560個増強、ビール会社の共同輸送、ダイヤ改正後のトヨタ専用列車の倍増等々の記事が羅列されており、トラック運転手不足が追い風、JR貨物鉄道黒字へなど見出しを飾った。



これは現場で働く組合員の努力の成果ではないか！！

この間、慢性的な要員不足、列車遅延、臨時作業と数を挙げればきりが無い状況であり、更に会社は我々に対して手当抑制、福利厚生等でも搾取のみを繰り返してきた。会社は「鉄道事業部門の黒字化」を口にしてきた。社長自らが黒字化できると言うならば、18年ぶりのベースアップを確実に実行してもらえない。

職場から青年部員の声を立て、賃上げを勝ち取ろう！！

会社はベースアップ回答を！！